

# 令和5年度 第1回昭島市青少年問題協議会（議事録）

日時：令和5年7月31日（月） 午後7時

会場：市役所 市民ホール

出席委員：白井会長・林委員・眞如委員・長野委員・信國委員・白井（規）委員  
守屋委員・和田（幸）委員・関口委員・廣光委員・森島委員・和田（千）委員  
井上委員・田口委員・福島委員・竹中委員・安部委員・山下委員  
欠席委員：美座委員・石井委員・吉本委員・指田委員・今藤委員・高橋委員・石川委員  
事務局：滝瀬部長・薬袋課長・山口係長・遠藤主任・吉岡

## 1 委嘱状交付

白井会長から新委員24名に委嘱状を交付  
代表で林委員に交付した。

## 2 会長あいさつ

みなさまこんばんは。ただいまご紹介に賜りました本協議会会長、昭島市長 白井伸介でございます。本日はお忙しい中、また暑さ厳しい折、令和5年度第1回昭島市青少年問題協議会に御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。委員の皆様方には、日頃よりそれぞれのお立場から各分野におきまして、青少年の健全育成はもとより、市政各般にわたり御理解と御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。青少年問題協議会委員の皆様方の任期につきましては、先ほど事務局長からも御説明させていただきましたとおり、令和7年6月30日までとなっております。委員の皆様におかれましては、豊富な知識、あるいは経験を生かしていただき、協議会の運営に御尽力を賜りますようお願いいたします。さて、今年度は新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な行事、イベントなどが復活しております。5月以降多くのイベントに出席してまいりましたが、どのイベントも非常に大勢の人々が参加しており、徐々にコロナ前の世の中に戻りつつあると感じております。引き続き感染対策については万全な対応を図りながら、取り組んでいく所存でございますのでよろしくお願いしたいと思います。また、先日、東洋経済新報社が毎年公表している「住みよさランキング2023」が発表され、昭島市は全国15番目となりました。多摩地域では、武蔵野市が2番、立川市が14番、国分寺市が28番と上位にランキングされたようです。今後も昭島市がより住みよい街となるよう尽力してまいりますのでよろしくお願いいたします。最後になりますが、現在、市内の小・中学校も夏休みに入っております。この期間中に子どもたちが、事件や事故に巻き込まれないよう、家庭・学校・地域・関係機関等が緊密に連携し、見守ることが重要であり、子どもの非行防止、犯罪被害を防ぐため、社会全体として取組みを進めることが急務であります。そのために、青少

年健全育成の一層の理解と推進を図って参ります。その中心となる委員の皆様方には、多様性と意外性に富んだ楽しいまち、「ふるさと昭島」の実現に向け、積極的にまちづくりに御参画をいただく中で、青少年の健全な育成に向け、引き続きお力添えを賜りますよう、さらなる御指導、御協力をお願い申し上げまして、私からの開会の挨拶とさせていただきます。

**【滝瀬部長】**

ありがとうございました。それでは、これ以後の進行につきましては臼井会長より進めさせていただきます。会長よろしくお願ひいたします。

**【司会進行】 臼井会長：定足数の確認**

3 委員の紹介（自己紹介）

各委員より、ご挨拶をいただいた。

4 副会長選出

教育委員から眞如むつ子委員が推薦され、市議会から林まい子委員が推薦された。全会一致にて異議なく承認される。

5 報告事項

令和5年度青少年健全育成方針について（資料2）

薬袋子ども育成課長より配布資料の確認後に説明。質問・異議なく報告を終わる。

6 協議事項

(1) 青少年善行表彰等審査委員会の設置について

薬袋子ども育成課長より説明

本協議会では、青少年の健全な育成を図るため、青少年の善い行いに対し表彰するとともに、青少年の健全育成の協力者に感謝状を贈呈し、より良い地域社会をつくることを目的として青少年の善行表彰等を行っております。表彰につきましては、毎年「青少年善行表彰等審査委員会」を設置し、表彰者等を選考いたしております。本年度も対象者を選考するにあたり「青少年善行表彰等審査委員会の設置」につき御協議いたすものでございます。

異議なく、設置決定

審査委員について事務局からの案を薬袋子ども育成課長より発表  
青少年善行表彰等審査委員会については以下の委員の皆様を推薦、異議なく承認される。

美座 たかあき 委員（厚生文教委員）	臼井 規次 委員（青少年委員）
関口 悟朗 委員（中学校PTA）	吉本 三代子 委員（地区委員会）
指田 守昭 委員（少年団体）	森島 徳幸 委員（商工会）
高橋 靖和 委員（自治会）	

以上 7名

#### 【臼井会長】

本日御出席の委員の御承認をいただきまして、ただいまの7名の委員の方を昭島市青少年善行表彰等審査委員に選任させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

（異議なし）

#### 【臼井会長】

御異議がないようですので、青少年善行表彰等審査委員7名の方の御承認をいただきました。7名の方よろしく願いいたします。

#### 7 情報交換・その他

ほかに皆さんのほうから何かありますか。ご意見がないようですので、以上で協議を終了させていただきます。次に情報交換に移りたいと存じますが、委員の皆様で何かありましたら、お願いいたします。御発言は、皆様から挙手をお願いしたいと思いますが、本日は昭島警察署長に御出席をいただいておりますので、最初に御発言をいただきたいと存じます。よろしく願いいたします。

#### 福島委員：

昭島警察署長の福島です。よろしく願いします。昭島市青少年問題協議会の皆様にありましては、格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。この場をお借りして御礼申し上げます。本日は、現在警視庁で重点的に注意喚起をおこなっております対策についてお知らせいたします。皆様もご存じと思いますが、昨年狛江市において高齢女性を被害者とする強盗殺人事件が発生しました。この事件は昨年秋ごろから全国的に発生していた強盗事件と関連していたことが判明しています。これらの事件は、若者がSNSやインターネット掲示板等で「短時間で高収入」「高額、即日現金」等の甘い言葉に誘われ闇バイトに応募して犯行に及んだことがわかっています。闇バイトに一度応募し犯罪に加担してしまうと、個人情報が入手されてしまっていることもあり、犯罪組織から「実家に行くぞ、家族に危害を加える」等と脅迫され、抜け出せなくなってし

まいます。実際に逮捕となった少年たちからも、「脅されて、恐怖からやめると言えなかった。」といった声が出ています。どうか、皆様におかれましては、「#BAN闇バイト」を合言葉に犯罪者を出さない取り組みにご理解とご協力をお願いいたします。昭島警察署といたしましては、あらゆる対策を講じながら、青少年の各種犯罪の撲滅に努めていきますので、引き続き、警察活動にご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

**【白井会長】**

どうもありがとうございました。みなさんのほうから警察の方に何かご質問等ございましたら。

**【白井会長】**

よろしいでしょうか。では引き続きまた情報を宜しくをお願いいたします。次に学識経験者の田口先生のほうから何かございましたら。

田口委員：

何点か情報共有をさせていただきます。まず1点目に感染症の流行についてです。現在保育園にてヒトメタニューモウイルスが流行しているようです。2点目に不登校の児童、生徒についてです。2020年から2021年にかけて不登校の児童数は小学1年生、2年生、4年生が増加しています。また、生徒数は中学2年生、3年生が増加しています。3点目です。発達障害の診断名についてですが、医療において診断名が変更となっています。発達障害は神経発達症、知的障害は知的発達症、コミュニケーション障害はコミュニケーション症、広汎性発達障害は自閉スペクトラム症、注意欠如・多動性障害は注意欠如・多動症というように、〇〇障害という診断名が〇〇症という診断名に変更となっています。4点目に就学相談の件数増加についてです。令和4年度から令和5年度にかけて、103件から130件と就学相談の件数が増加しています。それから、特別支援学級に所属する児童・生徒数は増加傾向にあり、令和5年度には100名を超え、109名となりました。この数字は、5年で2.5倍の増加となっています。現在は就学相談機能の充実化が進み、以前に比べて保護者の方にとって相談がしやすい環境になっています。また、特別支援学校は、令和6年度に鎌水に、令和9年度に東大和市に開校する予定です。以上で情報共有とさせていただきます。

**【白井会長】**

どうもありがとうございました。みなさんのほうから先生に何かご質問等ありますでしょうか。

林委員：

インクルーシブ教育について、昭島市の方向性としてはどのような展開を見据えているのでしょうか。

田口委員：

個別最適化という面から考えると、子ども一人一人の能力を発揮できる環境を提供することが難しい状況です。また、現在の日本の画一的な教育体制が、インクルーシブ教育の推進を難しくしているところではあります。

山下委員：

インクルーシブ教育は、障害の有無にかかわらず可能な限り一緒に学ぶという考えですが、その中でも個々人に寄り添って、その子どもの発達にとって一番いい教育をしてあげられるよう、バランスをとりながら進めていければと思います。

【白井会長】

ありがとうございました。次に児童相談所のほうから竹中所長さん、お見えでございますので、よろしくお願ひしたいとおもいます。

竹中委員：

立川児童相談所の竹中です。よろしくお願ひいたします。立川児童相談所は現在、11の市町村を管轄しています。今後多摩地域で3つ児童相談所が増設される予定になっていますが、人材の確保が困難で課題となっています。立川児童相談所への通報件数としては、全体として減少しておらず、昭島市も現時点で281件となっています。通報は、警察からの通報が最も多く、次点で家族・親戚、近隣市民となっています。虐待の内容は、心理的虐待がとて多くなっています。具体的には、子どもの目の前で激しい夫婦喧嘩をしましう、といった内容などで、当事者から通報があるケースも多くあります。通報があつた際には、状況に応じて、保護者への指導を行ったり、深刻な場合には児童相談所で一時的に保護をしたり等対応を行っています。多摩地域では、今年あきる野市で虐待死の事件があり、現在どんな点に問題があつたのかなど調査を行っているところです。こういった事件を防ぐためには、ただ見守るだけではなく、いつ、どこで、誰が何をするのかをあらかじめきちんと決めておく必要があると考えます。また、最近では児童相談所に自ら駆け込んでくる子どもも多く、学校がPRを積極的に行ってくださっているおかげだと思ひます。

【白井会長】

どうもありがとうございました。そういった虐待の事件の報道を見ていると、実の親ではなく、親のパートナーからそういった虐待を受けたというケースが多いように感じます。親であるならば、子どものことを第一に考えて、せめて子どもが大きくなるまでは我慢し

てほしいとも感じます。

竹中委員：

たしかに、そういったケースはとても多いです。ただ、話を聞いていると、親の方も様々過酷な背景があることがとても多いです。そういった場合ですと、子どもはもちろん第一であっても、それだけではなく自分のパートナーも第一、となってしまう方も多い状況です。

【白井会長】

ありがとうございます。みなさんのほうから何かご質問等ありますでしょうか。

信國委員：

補足をさせていただきます。DVはサイクルになってしまうことが問題として挙げられます。DVをしてしまった親に話を聞くと、その人自身も子どものときにDVを受けた経験がある人がとても多いです。このように、子どものときにDVを受けてしまうと、その人が親になった時に自分も子どもにDVをしてしまうというサイクルが生まれてしまいます。今DVを受けている子を守り、早めの段階で対応することが将来的なことを考えても大切と考えます。

【白井会長】

どうもありがとうございました。引き続きこちらのほうからも宜しくお願ひしたいと思ひます。昭和高校の校長先生、お見えですので、お願ひ致します。

安部委員：

ありがとうございます。学校では徐々にコロナ以前の状況に戻りつつあります。昭和高校でも、今年度は文化祭が解禁となりました。ただ、コロナの影響で数年リアルな体験ができなかったのは痛いと感じています。パンデミックの後遺症として、今の生徒は打たれ弱い生徒が多く、肉体的にも精神的にももう少したくましくなってもよいのではと感じます。文化祭をはじめとして学校行事ができることに対しては、生徒たちは思った以上に喜んでおり、ゴールドコーストへの語学研修においても35名の生徒が参加しました。またつつじ祭りの来場者数も約3倍であったと聞いています。おそらく、くじら祭りの来場者数も大いに増えるのではないかと思います。このような状況の中で、子どもたちの地域との交流の大切さを改めて感じました。これは、どの発達段階においても非常に大切なものだと思います。私からは以上とさせていただきます。

【白井会長】

どうもありがとうございました。他にみなさんのほうから情報交換・伝えたいことなどございますでしょうか。よろしいでしょうか。最後に長野先生、お願いしてもよろしいでしょうか。

長野委員：

ありがとうございます。まず、中学生の修学旅行についてです。修学旅行は参加費を1年生の時から積み立てをしていますが、3年生の時に物価高となって費用が足りなくなるという状況が起こっています。次に、特別支援級の状況についてです。青梅市では知的固定級の人数が増え、教室が足りない状況です。通常級が11クラスに対し、特別支援級は最大8名のクラスが8クラスで、人数は58名となっています。また、固定級に進む子どもの中でも、知的、情緒どちらの固定級がいいのか判断が難しい場合もあり、個別最適化がきちんといきわたるのか、といった問題もあります。中学校を卒業すると、生徒によっては就労に進む可能性もあるため、そういったことも見据えて考えていくことが大切と考えます。

【臼井会長】

どうもありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行に行けなかった年には、公費負担でフォレストイン昭和館における宿泊行事を行ったこともありました。それでは、情報交換終わりましたので、これで終了させていただいてよろしいでしょうか。それでは最後に閉会の言葉を、林副会長よりお願いしたいと思います。

林副会長より閉会の言葉をいただいた。

閉会